

6

June 2024
National
Noh Theatre



定例公演

6月4日(火) 午後1時開演

狂言 地蔵舞

山本東次郎(大蔵流)

古本による

能 水無月祓

浅井 文義

普及公演

6月8日(土) 午後1時開演

解説・能楽あんない

放下僧

禪と仇討ち 芸尽くし

三浦 裕子
(武蔵野大学教授)

狂言 ぬけから

井上松次郎(和泉流)

能 放下僧

大村 定(喜多流)

能楽鑑賞教室

6月18日(火)～22日(土) 午前11時・午後2時開演

解説 能楽のたのしみ

狂言 柿山伏

大蔵彌太郎他(大蔵流)

能 安達原

山階彌右衛門他(観世流)

定例公演

6月26日(水) 午後5時30分開演

狂言 無布施経

野村 萬(和泉流)

能 熊野

観世 清和(観世流)

特別公演

6月29日(土) 午後1時開演

能 誓願寺

朝倉 俊樹(宝生流)

狂言 茶壺

山本泰太郎(大蔵流)

能 藤戸

武田 宗和(観世流)

躑躅之伝

予約開始
5月10日(金)午前10時～
窓口販売開始=5月11日(土)
(チケット売場 午前10時～午後6時)
※窓口販売用に別枠でのお取り置きはございません。

(電話)国立劇場チケットセンター(午前10時～午後6時)

0570-07-9900 / 03-3230-3000 [一部IP電話等]

(インターネット) [国立劇場チケットセンター](https://ticket.ntj.jac.go.jp/top_e.htm)

チケットびあ <https://t.pia.jp/> e+ (イープラス) <https://eplus.jp/>

入場料金

〈定例・普及公演〉 正面¥5,500・脇正面¥3,700・中正面¥3,300
学生：脇正面¥2,600・中正面¥2,300
〈能楽鑑賞教室〉 正面¥3,500・脇正面¥3,000・中正面¥2,500
学生(全席)¥1,500
〈特別公演〉 正面¥8,500・脇正面¥6,900・中正面¥5,400
学生：脇正面¥4,800・中正面¥3,800

※全公演字幕付です(日本語・英語)。※インターネットでも学生料金・障害者割引(2割引)による申し込みが可能です(他の割引との併用不可)。車椅子などの詳細についてはチケットセンターまでお問い合わせください。
※出演者などの変更の場合はご了承ください。※能楽鑑賞教室は学生・生徒の団体鑑賞を目的とした公演ですので、席をお取りできない場合がございます。あらかじめご了承ください。※詳細はホームページをご覧ください。

National Noh Theatre June 4 (Tue.) 1 pm, June 8 (Sat.) 1 pm, June 18 - 22 (Tue. - Sat.) 11 am / 2 pm, June 26 (Wed.) 5:30 pm, June 29 (Sat.) 1 pm
June 2024 Tickets: ¥2,500-¥8,500 On Sale: May 10 (Fri.) 10 am National Theatre Ticket Centre +81-3-3230-3000 (10:00-18:00(JST))
Noh/Kyogen Performances: https://ticket.ntj.jac.go.jp/top_e.htm Individual subtitle monitors are available in both English and Japanese.

定例公演

6月4日(火) 午後1時開演

地蔵舞

山本 東次郎
山本 凜太郎

水無月祓

浅井 文義
大日方 秀寛
山本 則秀
杉本 信太郎
安福 洋太郎
観光 雄
大観 光雄
大江 信之丞
江世 祐
大田 廣
小早川 康充
小早川 泰輝
小早川 健吾
谷本 健吾
長山 桂三
浅見 慈一

能楽研修発表会

6月11日(火) 午後1時開演
舞雛子「竹生鳥」「生田」「富士太鼓」
狂言「大蔵流」二人袴 木村 直樹
能「観世流」杜 若 井上裕之真

地蔵舞 自分の笠の下は自分の額分と居る僧
宿の亭主が酒を勧めて、僧ともども酒宴とな
り、僧は地蔵舞を舞い始めます。
茅の輪が結ぶ男女の縁
水無月祓 男を慕うあまり物狂いとなった女は、
都・下賀茂神社の水無月祓の神事の場で男と再
会を果たします。今回は江戸初期の謡本に拠り、
室の津での別れの場面が復活します。

普及公演

6月8日(土) 午後1時開演

放下僧

三浦 裕子
(武蔵野大学教授)

ぬけから

井上 松次郎
鹿島 俊裕
大村 輝久
大島 英志
則久 健太郎
奥津 保美
森田 保美
曾和 正博
白坂 信行
塩津 哲生
栗谷 浩之
佐藤 陽友枝 雄人
友枝 真也 長島 茂
佐々木多門 出雲 康雅
佐藤 寛泰 内田 成信

能「喜多流」
能「観世流」
放下僧 小次郎の兄
ツレ 牧野小次郎
ワキ/利根信俊
アイ/利根の従者
後見

若くしの果ての敵討ち
放下僧 父の敵を狙う兄弟は放下僧姿の芸人
に扮して敵に近づき、曲問答や歌舞を見せ、敵
討の際を窺います。舞・羯鼓など様々な中世
の芸能も見どころの作品です。
柿山伏 柿を盗み食う山伏を懲らしめようと、
加主は高や鎮などの動物の真似をさせます。
安達ヶ原の鬼女伝説
安達ヶ原 陸奥・安達ヶ原の比し一つ家で糸を
紡ぐ女。宿を求めた旅の山伏一行は、女から聞
く決して眠くとも言い渡されます。後半、鬼女

能楽鑑賞教室

6月18日(火) 22日(土)

能楽のたのしみ

18日・21日 武田 祥照
19日・22日 寺井 美喜
20日 山階 彌右衛門

柿山伏

大藏 彌太郎
大藏 基誠
大藏 教義
善竹 大二郎
吉田 信海
18日午後・20日午後
18日午前・21日午後
19日午前・21日午後
19日午後・22日午前
20日午前・22日午後

能「観世流」
安達ヶ原
18日午前 武田 友志
18日午後 坂口 昌信
19日午前 野村 昌司
19日午後 角野 幸二郎
20日午前 武田 宗典
20日午後 清水 義也
21日午前 坂井 音隆
21日午後 武田 文志
22日午前 坂井 音雅
22日午後 山階 彌右衛門

と山伏たちのせめぎ合いが展開します。
無布施経 寺の住持がお勧めを終えると、いつ
も出るお布施が今日は渡されません。住持が遠
回しに催促しても、檀家は中々気付かず。
村雨に散る桜に揺れる熊野の心
熊野 遊女、熊野は、平家盛の寵愛ゆえ病の母
のもとへ帰れませんが、花見の宴で散る桜を見た
熊野は母を想い、歌を詠みます。
歌舞の菩薩、和泉式部
賢願寺 熊野を立立して京都・賢願寺を訪れた

定例公演

6月26日(水) 午後5時30分開演

無布施経

野村 万蔵
野村 万蔵

熊野

村雨留 村雨留
読次之伝 村雨留
墨次之伝 膝行留
観世 清和
観世 三郎太
宝生 常三
館田 善博
松田 弘之
大倉 源次郎
亀井 尚忠
武田 尚浩
上田 公威
井上裕之真 清水 義也
関根 祥丸 藤波 重彦
林宗一郎 観世 喜正
坂口 貴信 角 幸二郎

能「観世流」
熊野
シテ/住持
シテ/施主
ワキ/一蓮上人
ワキツレ/従者
ワキツレ/後見
ワキツレ/門前の者
アイ/門前の者

一遍上人。彼の前に歌舞の菩薩となった和泉式
部が現れ、浄土曼陀羅のごとく荘厳な極楽浄土
の情景を現してみせます。
茶壺 使いにした男へすっぱ(いたずら者)が
近寄り、男の茶壺を自分の物だと言い張り、
止めに入った所の目代(役人)は。
戦で奪われた合戦の陰で口封じのため佐々木盛
綱に殺された若き漁師。激しく憤る漁師の母に
迫られた盛綱が引いた管絃講を催すと、漁師の
亡霊が立ち現れます。

特別公演

6月29日(土) 午後1時開演

誓願寺

来迎拍子・札之仕形
朝倉 俊寛
大朝 日方
野野 口口
野野 口口
山原 観一
井岡 幸九
生井 一新
邊生 井岡
水邊 井岡
小水 井岡
金井 伸二
佐野 健太
當山 資郎

茶壺
シテ/すっぱ
シテ/使いの男
アド/使いの男
アド/目代
後見
大鼓
小鼓
前シテ/漁師の母
後シテ/漁師の室
ワキ/佐々木盛綱
ワキツレ/従者
ワキツレ/後見
ワキツレ/門前の者
アイ/門前の者

能「観世流」
藤戸
蹉跎之伝
武田 喜和
福喜 宗和
山矢 茂平
山矢 宗和
山矢 茂平
山矢 宗和
山矢 茂平
山矢 宗和
山矢 茂平
山矢 宗和

高田 梨口
高田 梨口
高田 梨口
高田 梨口
高田 梨口
高田 梨口
高田 梨口
高田 梨口
高田 梨口
高田 梨口